

株式会社ジェイコムウエスト  
第一回（平成 26 年 5 月度） 放送番組審議会 議事概要

第一回の放送番組審議会は、平成 26 年 5 月 21 日（水）、株式会社ジェイコムウエスト本社において、7 名の委員が出席して開かれた。

会議では、審議会規程に基づき、会長及び副会長を委員の互選により選任。会長の進行のもと、『おちやのこ Sai Sai』 4 月 23 日放送号を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 出席委員

会 長	梶原 義秀	（門真地区保護司会 理事）
副会長	平井 宏	（箕面自由学園 理事長）
委 員	川村 輝夫	（いけだ市民文化振興財団 理事）
	木村 惇	（大阪経済法科大学 教授）
	重田 秀義	（東果大阪株式会社 代表取締役会長）
	富永 俊裕	（須磨 FRS ネット 幹事）
	長友 文子	（和歌山大学 教授）

■ 審議番組

J:COM チャンネル 午後 4 時 00 分～午後 4 時 53 分放送  
『おちやのこ S a i S a i』  
平成 26 年 4 月 23 日（水） 放送号

■ 主な発言

・紹介された地域の方には見ていただける番組と思う。コーナーをもう少し短くして、もっと色々な地域を紹介してはどうか。ニュースや事件事故など、身近で起こっていることなども紹介されればもっと良いのではないか。

・地域を限定してみせる企画で、今回は町ぐるみの博物館を紹介されていたが、良いと思う。登場する人物が面白ければ、視聴者は興味を持って見る。その地域で、有名無名を問わず、そういった面白い人物をどう見つけて来られるかがポイント。地域には様々な活動をしている団体があるが、番組を通じて J:COM が仲介役となり新たな文化活動に発展させることも可能だと思う。

・スーパーテロップの行数が多い箇所が気になった。2 行までにし、複数にわけて大き

めに表示したほうが読み易い。

・ほんわかとして、良く出来た番組だと思う。少し限定された地域に密着しすぎてる感じもしたので、もう少し広いエリアにした方が良いのではないだろうか。インタビューを受けた人がみなさん地域の歴史を誇りにされている印象を受けたが、番組内で肝心な地域の歴史があまり深く紹介されていなかったのが残念。

・全体的に少し情報を詰め込みすぎかなと感じたが、番組のコンセプトは良く、好きなジャンルではある。番組では3つの大きなコーナーに分かれていたが、2つくらいにして、それぞれをもう少し深く掘り下げてみてはどうかと感じた。

・社員リポーターが農園を紹介するときにスーツで入っていったが、スタジオではジャンパーを着ていて、細かな点だが違和感があった。

・今回の作品では、スタジオに外国人の出演者がいるが、民放の番組では外国人に面白いキャラクターを作らせて特別な扱いをすることが多いが、この番組では自然な感じで扱われていて、とても良い印象を受けた。

・紹介されるテーマが少し多いのではないかと感じた。視聴者は登場する人に関心があると思うので、タレントは出来るだけ前面に出ないようにし、人にスポットがあたるように意識して制作してほしい。

・年代によって使う言葉が異なる。若い人の言葉を中高年の人に理解させるような番組を放送してはどうか。

発言いただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上